

凡事徹底

令和3年度 板橋区立板橋第二小学校 学校経営方針

令和3年 4月1日
校長 小澤 裕行

1 学校経営の基本理念

学校は、子供たちの自立を支援するために、必要な技能や知識を学ばせ、集団の中で人間関係の基礎を身に付けさせることが求められています。このことは、単に学習内容を身に付けさせるだけでなく、将来の社会を築く人材の育成を図っていることにつながります。

子供たちは、6歳から12歳までの6年間もの時間を学校で生活します。1日24時間、そのうち睡眠時間や食事の時間などを除いた半分近くの時間を過ごします。子供たちにとって学校はとても大きな存在です。6年間は子供たちの成長に大きな影響を与える時間でもあります。このことを教職員一人一人が強く意識しなければなりません。

そのために、教職員は、保護者、地域、社会の協力を得ながら「確かな学力」「道徳心」「体力」などを身に付けさせ、「知・徳・体」の調和のとれた人間の育成に勤める必要があります。

そして、本校の教育目標にある「自分でする子ども」「思いやりのある子ども」「じょうぶな子ども」こそが「生きる力」そのものだにとらえます。また板橋区立小学校として、「板橋区教育ビジョン2025」の実現こそが、人づくりにもつながります。

教育目標や、板橋区教育ビジョン2025の実現を具現化することは、板橋第二小学校教職員一人一人に課せられた責任であるとともに、板橋第二小学校という組織全体に課せられた課題でもあります。一人一人の力では困難なことも組織としてならば解決できる、組織として力を結集した大きな力で解決していくことが重要だと考えます。全教職員が共通理解だけでなく、**共通指導・共通行動**をとっていく必要があると考えます。

いずれにしても、心掛けることは、「**凡事徹底**」です。一人一人がやるべきことを一つ一つしっかりやることに尽きます。

2 板二小が目指す学校像

○子供たち、先生たちが元気な学校

全ての中心は、子供たちです。その子供たちが元気でなければ、何の意味もありません。また、それらを導く先生方が元気でなければ、子供たちを元気にすることはできません。教育改革が叫ばれ、制度が変わっても、学習内容が変わっても、行うのは人間すなわち教師です。成果はすぐには出ません。また成果を挙げるのに特効薬はありません。一つ一つやるべきことに、きちんと取り組むしかありません。教師も子供も「**凡事徹底**」を図ることが目指す学校像を達成することにつながると考えます。

子供から見て

- ① **受容的、共感的、肯定的な雰囲気**があふれる学校
- ② 自分の**居場所がある**学校（一人一人が認められているという思いをもてる学校）
- ③ **やればできるという思い**を実感させてくれる学校

教職員から見て

- ① いつまでも**勤務したい**と思う学校
- ② **誇りをもてる**学校
- ③ 各自が**職責を果たす**と共に、必要な場合助けあい、**組織として取り組める**学校

保護者から見て

- ① **通わせて良かった**という思いをもてる学校

地域から見て

- ① 地域の**自慢できる誇れる**学校

3 板二小が目指す教師像

- ① 子供の耳に傾け、**子供と良好な人間関係を築ける 児童理解の優れた教師**
- ② 保護者や地域の方々と積極的にコミュニケーションを図り、**疑問や相談には真摯に耳を傾け、初期対応を特に誠実に行う教師**
- ④ 善悪をきちんと指導するとともに、正しくない行いに対しては、**毅然とした態度で 責任をもって、徹底した指導を行う教師**
- ⑤ 課題に対して、**様々な手だてを考え、実行できる教師**
- ⑥ 授業力向上を達成するために、自らの資質向上を目指し、**自分に厳しい教師**
- ⑦ 一人一人の児童の良さを認め、**持ち味を伸ばし育てる教師**
- ⑧ 自己の職責を自覚し、きちんと**果たす**ことができる教師
- ⑨ 自分の学級や担当のことだけでなく、他の教職員と協働し、**組織の一員として行動できる教師**

4 板二小が目指す児童像

(学びのエリアで目指す児童像)

「自律」と「自立」

- 自ら考え、挑戦し続ける子
- 自他を尊重し、自ら判断し、責任ある行動のとれる子
- 心と体を大切にし、困難にも立ち向かえる子

☞学びのエリアでの具体的な取組

- ①「読み解く力」育成のための共同研究と共通実践
「未来を自らの手で切り開く確かな学力を育む指導の工夫
～義務教育9年間をつなぐ『読み解く力』の育成を通して～」
- ②「板一中 小中一貫学びのエリア」 読み解く力の育成 授業スタンダードの徹底
- ③一人一台の端末を用いた個別最適な学びの充実と、主体的に学習を調整する力の育成
- ④特別の教科 道徳の共通重点指導（「善悪の判断、自律、自由と責任」）の実施
- ⑤9年間を見通した児童・生徒の交流の充実
- ⑥コミュニティ・スクール委員会の相互参観

5 学校の教育目標

- 自分でする子ども
自ら学ぶ意欲と強い意志をもち、主体的に実践する児童を育成する。
- 思いやりのある子ども
豊かな心をもち、自他の人格を尊重し、人との関わりを大切にする児童を育成する。
- じょうぶな子ども
健やかな心と体をもち、心身共に健全な生活を目指す児童を育成する。

6 板二小の教育活動の二つの最重点項目☆印と、四つの重点項目○印

☆環境教育 ビオトープを中心に据えた取組 (ユネスコスクールとして)

☆学力向上 ・小中9年間の義務教育をつなぐ「読み解く力」の育成

・基礎学力の定着

○人とのかかわり (良好な人間関係づくり)

○礼儀・規律の徹底

○家庭・地域との連携

○一人一台の端末の効果的な活用

7 指導目標と具体的な取組

(1) 自分でする子ども……知

① 基礎的・基本的な知識・技能の定着

・学習規律の確立……規律の徹底が学力向上に通じる。(教師の力量)

本校の最重点項目

- ・読み解く力の育成（読み解く力を育む6つの視点を意識し、教科書を用いて教科書で学ばせる）
 - ・ノート指導（ノートへの記録の徹底から内容の充実へ）
 - ・個に応じたきめ細かな指導の実施
目をよりかけ、手をよりかけなければならない児童への対応
 - ・算数少人数加配教員、学力向上専門員、ボランティア等の効果的な活用。
 - ・スタディアップタイムの充実 読み解く力の育成も図る。
 - ・放課後学習教室、夏季学習教室の実施
 - ・読書活動の充実 読書を通じて語彙の獲得
・書くことの重視 1時間の授業の中で文字を、文章をたくさん書かせる。
- ② 主体的、協働的な学びのある授業実践
- ・板橋区（学びのエリア）授業スタンダードの実践
（なぜ？問いかけ ・振り返り ・学び合いの重視）
 - ・言語活動を重視した授業の実施
 - ・体験活動を取り入れた授業の実施
 - ・一人一台端末の効果的な活用（他の ICT 機器の有効活用も含む。デジタル教科書、電子黒板、実物投影機、など）
 - ・第二図書室の活用
- ③ SDG`s の項目や ESD の視点を踏まえた環境教育の推進
- ・環境教育年間計画の確かな実践
 - ・ビオトープの活用
 - ・栽培活動の充実
 - ・3R 活動の推進
 - ・児童のビオトープ管理（児童会 環境委員会）
 - ・環境教育推進委員会の充実（ユネスコスクール校として）
 - ・各教科、総合的な学習の時間、学活、行事における取組
（自然発見カード、1年間の環境教育の取組掲示等）
- ④ 家庭学習の習慣化
- ・宿題指導の工夫改善（ドリル的学習は、できる限りタブレットパソコンを用いる。
 - ・読み解く力に関連する課題を継続的に取り組ませる。
 - ・自主学習の取組推進（4年生以上の自主学習ノートを使つての取組）
 - ・板橋区家庭学習の手引きの実践。

本校の特色・最重点項目

共通行動・共通指導

(2) 思いやりのある子ども……徳

①挨拶・返事・清掃活動の重視。

- ・挨拶は「自分から 気持ちをこめ 誰にでも 欠かさず」
- ・返事は「欠かさず、聞こえる音量で 誰にでも」
- ・清掃活動は「静かに 隅々まで 心を「こめて」

②心の教育の充実

- ・道徳授業の充実
（児童の振り返り、
- ・人権感覚の醸成

いじめは、どんなことがあっても見過ごさない。許さない。

学びのエリア重点指導項目)

(栽培飼育活動を通じて、人権に関する講話、道徳、いじめ防止月間、いじめアンケート、いじめ防止基本方針)

- ・ **ルールとマナーの遵守の徹底 (生活指導の充実)**
人に喜ばれる、人を気持ちよくさせる行動の重視
- ・ **地域清掃、募金活動などへの取組**

③ 豊かな人間関係作りの推進

- ・ **異学年交流** (登校班、清掃活動等)
- ・ **良好な学級集団作り (学級経営・専科経営の徹底)**
- ・ **縦割り班活動の推進** (縦割り班遊び、児童集会、ロングプレイタイム等)
- ・ **交流活動の実施** (幼稚園、保育所との交流)
- ・ **Hyper Q-Uを活用した居場所・充実感のある学級作り**
- ・ **特別活動の取組** (板二まつり、一年生を迎える会、六年生を送る会、各種集会、運動会、学芸会、入学式、卒業式等)

児童理解

(3) じょうぶな子ども……体

① 教科体育の充実

- ・ **運動の質と量の向上 (教師が各運動の特性をしっかりと理解して指導。意図的計画的な体育の授業実践)**
- ・ 体力調査を踏まえた運動内容の工夫。

② 運動の日常化

- ・ 休み時間の戸外遊びの奨励。
- ・ ロングプレイタイムの活用。
- ・ 校内持久走発表会 (記録会) の実施
- ・ 全校縄跳び月間の設定、体育朝会での全校縄跳びの実施

③ 健康教育の推進

- ・ 食育の取組
- ・ 「早寝、早起き、朝ご飯」の徹底

(4) どの子ども充実感、帰属感が味わえる学校づくり

① 特別支援教育の充実

- ・ 特別支援教室の充実、
- ・ **校内特別支援委員会の充実や推進**
(入退級判定準備、行動観察のみで終わるのでなく、発達障害のある児童への指導法など提案)

② 夢や目標や意欲をもたせる指導・支援

- ・ **キャリア教育の推進** キャリアパスポートの活用

③ 達成感や満足感、自己有用感を味わえる場の設定

居場所づくり

(5) 学ぶ環境の整った、美しい学校づくり

① 清掃の行き届いた清潔な環境の整備

② 整理・整頓された教材・教具

- ・ 普通教室だけでなく、特別教室、専科教室、準備室も常にきれいに。

③ 靴のかかどがそろった昇降口、傘がきちんと入れている昇降口

④児童に働きかける教室環境や掲示物の工夫⇒校内掲示計画に沿って

(6) 安全・安心で、信頼される学校づくり

- ① 施設・設備・教材の点検と修繕
 - ・安全点検日の設定と実施
 - ・日常の校内巡視
- ② 安全に配慮した教育活動の実施
 - ・綿密な計画もとの実践
- ③ 防災・防犯・交通安全指導の実施
 - ・防災教室、セーフティー教室、薬物乱用防止教室、不審者対応訓練、情報モラル教室、安全マップ作り等の実施
- ④ 各種マニュアルの整備と改善
 - ・光化学スモッグ対応、高温（気象）対応、欠席時対応、不登校対応、アレルギー対応、不審者対応、保護者対応等
- ⑤ 実際に即した（避難）訓練の実施（アレルギー対応研修等も含む）

危機管理 油断大敵

(7) 保護者・地域等、外部とのつながり

- ①参観・懇談会・保護者面談・家庭訪問による相互理解の推進
- ②教育活動の積極的な公開と発信・ホームページ、学校だより、学年だより、ほけんだより等を通じての発信。
- ③地域人材の積極的な活用
- ④学校人材バンク（仮称）の活用
- ⑤保護者による支援、ゲストティーチャー、出前授業・iCS 地域コーディネーター（学校支援地域本部）の活用
- ⑥学校評価の実施と結果の公表及び学校運営の改善
 - ・iCSによる学校運営への参画

(8) 教職員としての資質向上

- ① 一人一人を大切に愛情あふれる指導・支援
 - ・児童理解、保護者理解、迅速丁寧な支援相談
- ② 教職員研修による授業力の向上
 - ・読み解く力の育成を目指した校内研究
 - 「読み解く力」を支える基礎的読解力の6つの分類を意識した教科書を用い、教科書で学ばせる研究授業
 - ・悉皆研修、自主研修の活用
- ③ 板橋（地区）授業スタンダードの確実な実践
- ④ 職層や立場・役割を自覚した行動
- ⑤ 各自の能力開発
 - ・自己申告の教職員が身に付けるべき4つの力（「学習指導力」「生活指導力・進路指導力」「外部との連携・折衝力」「学校運営力・組織貢献力」）の活用
- ⑥ 新学習指導要領に伴う外国語活動・英語、プログラミング教育に関しての校内研修、GIGA スクール構想に関する研修 特別支援教育に関する研修。

- (9) 相互に連携・協力して、課題を解決する組織力の向上
- ①教職員間の活発なコミュニケーションによる組織の活性化
 - ②支え合う協働的な関係の構築
 - ③報告・連絡・相談による課題への迅速な組織的な対応

(10) 公務員としての服務規律の徹底

自覚 責任感、危機意識

- ① 服務事故0
 - ・勤務時間の厳守、体罰の禁止、個人情報管理、飲酒運転の禁止、わいせつ行為やセクシュアルハラスメントの未然防止、会計事故等々

8 各職層が果たすべき内容の熟知と実践

教諭、主任教諭、主幹教諭、副校長、校長、それぞれの役割を尊重するとともに、その職責を果たす。必要な場合は、関係者が集まって話し合うようにする。

学校の中心は子供。子供が学校にいるときは、子供から離れない。

9 働き方改革 校務改善の徹底

○必要なものは残し、削減、改善できることは削減・改善する。

10 その他

① 柔軟な対応をする。

・一度決めても、状況や変えた方が良いと判断した時には、状況に応じて年度途中でも変えていく。

② 前例踏襲 (いいんじゃないか このままで)

思考停止 (なにがおかしいんだ。いまのままでいいんじゃない。何も考えずにいつものようにこなしていく)

固定観念 (決まっていること、例年それでやっている。いまのままでいい)

自己制止 (これ以上無理だ。自分は他にもやっている自分には今のままでいい。) 4つの項目のリミッターを外す。